

令和4年度 第2回ミライニ運営評価審議会の会議録報告

日時：令和5年2月28日（火） 午後2時～午後3時30分

場所：酒田市総合文化センター412号室

出席：阿部建治委員（会長）、西村修委員（副会長）、西村まどか委員、長澤和博委員、村形弘也委員、船越伸委員、佐藤守委員

池田教育次長、岩浪社会教育文化課長、阿部光丘文庫長、眞嶋社会教育文化課主査兼ミライニ係長、高橋ミライニ係調整主任、菅原同調整主任

梶谷ミライニ所長兼酒田市立図書館長、佐藤ミライニ副所長兼酒田市立図書館副館長、角田ミライニチーフ（総務）、佐藤ミライニチーフ（図書）

欠席：矢野慶汰委員、齋藤邦子委員、本間俊美委員

傍聴：なし

○新任委員委嘱の報告

眞島委員（副会長）が推薦団体内役員改選により西村修委員に変更。

○開会要件の確認

酒田駅前交流拠点施設ミライニ設置管理条例施行規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席があるため、開会要件を満たすことを確認。

○副会長の互選

自薦・他薦なく、事務局提案の西村修委員が副会長に就任。

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育次長あいさつ
- 4 新任委員自己紹介
- 5 副会長の互選
- 6 報告・協議事項

(1)酒田駅前交流拠点施設ミライニの運営状況について

① 図書館運営について 資料1 (説明 佐藤志織チーフ)

主な意見・質問事項

- ・多彩なイベントが行われているが、連携先はどのように見つけているか (村形委員)
→イベントを見た市民や団体側からの問い合わせ多数。またミライニ内の事業担当が、チラシや地域情報誌等から情報収集し、企画書を作成。相手方に働きかけ実現したイベントもある。絵本作家と連携した手作り絵本教室やル・ポットフーと連携した『不思議の国のアリス』など。積極的に連絡を取り開拓を続けている。

- ・魅力的なイベントが多く、企画も楽しみにしている。(船越委員)

- ・駅前のミライニらしい鉄道 150 周年関係の JR との連携がいくつかあるし、ひらた図書センターの新大河ドラマに合わせた徳川家康に関する企画も酒井家庄内入部 400 年の周年企画に繋がっていて市民の関心を高めてくれる。冬の庄内を代表する「寒だらまつり」も盛況だったようで、多くの人に来てくれる新会場はありがたい。(佐藤委員)

- ・ミライニは小学生の見学でも好評。「地域を知ろう」で小学 2 年が見学する時期なので、その年代が喜ぶような仕掛けがあるともっとよいのではないか。(長澤委員)
→小学生向けにミライニ説明用大型絵本作成しているところ。あるほなつき(絵本作家ユニット)に依頼中。

- ・入館者カウントの仕方について (長澤委員)
→ホテル等含めた建物全体の入り口設置のカウントとは別に、図書館(ミライニ)への入り口となる共用ロビー側、駅側、ル・ポットフー側の 3 か所へ設置した赤外線カウンターがあり、そちらのカウント数を採用している。1 月で年度目標の 40 万人を達成した。

- ・展示について、科学的なものの企画はどちらがしているのか (西村まどか委員)
→基本的に展示はすべてスタッフが考えている。なるべく定番のテーマを外すことを心掛けている。

- ・展示のアイデアのひとつとして子供が喜ぶ「ロボット」の展示はどうか。(市内にある県立産業技術短期大学校が参加の)市の産業フェアで作った不要になったものなどもらうことができればよいのでは。また市内の養豚はじめ、県内には農業、森林など多様な研究所があるのでこれを生かして出張イベントを誘致すれば、ポスター等資料の展示もできる。授業で「プログラミング」が導入され、教師や保護者も苦慮していることとおもう。昨今

「データサイエンス」も注目されている。例えば地点によるセミの亡骸種類調べ等は統計の手習いとなるだろう。このような取り組みは酒田市の子供たちの科学系への関心を高めるのではないか。(西村まどか委員)

→医療と同様に、農業や科学も専門の職員不在で手を出しづらかった部分。ぜひ今後の展示の参考にしたい。

・酒田市屈指の集客力がすばらしく、すでに一大イベント広場になりえている。また観光起点として観光振興へ寄与している。(西村修委員)

・「布川ゆうじ展」は故人も故郷で開催できることをとても喜んでいた。「街なかキャンパス」がなくなったこともあり、市内で個人展をできる場所が非常に少ないが「布川ゆうじ展」の成功をみるに、そういった場としても期待できるのではないか。(西村修委員)

・子育て支援施設が求められているが、悪天候時等どこに連れて行ったらよいかというところをミライニがフォローしていると感じる。(阿部会長)

② 観光案内所運営について 資料2 (説明 佐藤副所長)

主な追加説明事項

- ・安全に配慮しての自転車の冬期間貸出停止について
- ・お雛様に合わせたもしえのんあののん顔出し看板設置予定

主な意見・質問事項

・観光案内所はあらゆるパンフレットが充実しており、素晴らしい。二次交通(駅等から観光地への移動手段)という観点ではみなとオアシスにも法改正で使いやすくなるキックボードを整備予定である。(西村修委員)

→観光客の多くは山居倉庫や海鮮市場等への移動を希望。二次交通としては安価なるんるんバスが案内すると喜ばれている。また無料の自転車に加えキックボードも整備されれば人気出るだろう。現在2時間と半日の回遊コースのマップがあるが、さらにコースを変えて海鮮市場から日和山方面のマップも作成中である。

・国内、海外ともに観光客が戻りつつあることが数字でも確認できた。インバウンド等のバックアップもしていきたい。他所ではみたこともないようなパンフレットもあった。「庄内まちナビカード」も目立つところに設置され、ありがたい。南高が作成した映像があるなど、若い力も感じる。(佐藤委員)

- ・小幡楼のところはライトアップされているが、ミライニはどうか（阿部会長）
- クリスマスツリー点灯式（12/10）から、ミライニ広場の樹木へのささやかなライトアップと、一時ない時期もあったが、ホワイトデーまでの予定でハートの形のライト設置がされている。夕方以降にぜひ見に来てほしい。

③ 管理運営事業について 資料3（説明 角田チーフ）

主な追加説明事項

- ・降雪に対応した駐車場屋上階の封鎖について

主な意見・質問事項

- ・減免対象ではない利用が多いようだが、研修室を利用しているのはどういった層か。（村形委員）
- 企業や文化センターからの移行組の一般利用が多い。
- ・減免基準は（阿部会長）
- 減免対象については別途基準を示す。

(2) 令和5年度事業計画の実施予定について 資料4・5（説明 榎谷所長）

主な追加説明事項

- ・サブチーフ増員を目指している。
- ・DVD 資料が少ない。今後強化したい。
- ・広場の利用が少ない。10月以降（市、ホテル、レストランからなるA棟管理組合から）共用ロビーの管理の委託も受けたので、A棟にも了解を得つつ雨天時に対応できるよう抱き合わせての活用を図っていく。

主な意見・質問事項

- ・提案事業の定義について確認したい（村形委員）
- 提案:指定管理の中で指定管理者から市への提案、自主:指定管理費外で独自に行うもの。
- ・子育て世代にはブックスタートの継続はありがたい。広場にも園で寄らせていただく。（船越委員）
- ・交流滞在型図書館という方針にワクワクする。実施は大変ご苦勞だとはおもうが、駅前がこういうテーマに向かっていくのが楽しみである。（佐藤委員）

- ・第3次子ども読書活動推進計画に基づき進めていってほしい。学校巡回文庫も小規模校では特に重要なのでお力を借りたい。自由研究や読書感想文等でも重要。(長澤委員)

- ・バリアフリー映画は東京でバリアフリー映画館を運営している有名な City Lights の協力によるものか(西村まどか委員)

→今回のバリアフリー映画上映は住友商事協力によるもの。そのほかに TRC による映画上映も行っている。今後はバリアフリー映画ができるかわからないが、月1回の上映会を目指している。

- ・動画を作る、というイベントがあるのであればそれにバリアフリー用の音声をつける、という取り組みをしてみるのも面白いかもしれない。図書館が皆平等に情報にアクセスできる場であってほしい。(西村まどか委員)

- ・首都圏図書館と協力した活動、というのは面白そう。今年みなとオアシスの全国大会がある。交流人口の拡大にも繋がる。観光物産協会としても協力したい。(西村修委員)

→当初は武蔵野市の図書館である武蔵野プレイスでの開催を目指したが、物販ありというのがネックで実現できず、デパートのマルイの一面での実施となった。

(3)その他

特になし

7 閉 会

欠席の委員から文書等寄せられた意見等

- ・学校図書館や市内公共図書館にない資料について、高校の生徒がミライニに相談し、他市図書館から相互貸借で取り寄せられることになった。丁寧な対応に感謝。(齋藤委員)

- ・ミライニの入館者・新規登録者の増加はうれしい限り。特に読書離れが始まる11~15歳の新規登録者数が7.6倍の増加は今後の多様な取り組みの推進への励みになる。(本間委員)

- ・中高の職場体験は「キャリア教育」として貴重かつ重要なこと。可能な限り特色や企画・内容を紹介し、学校側の意見も取り入れて進めてほしい。キャリア教育=職業教育のことではないので、幼児期から始まり、小・中・高・大学まで、多くの人が体験できるような

取り組みにしていきたい。(本間委員)

- ・図書館は一般向けのリカレント教育(『学び直し』)についても大きな支援の場。多様なライフスタイルに応じたスキルアップ、ボランティア活動への支援などは「協働創出事業」へも繋がるのではないかと。(本間委員)
- ・『読書手帳』の活用について、運用が変更されたが、配布の際に楽しく続ける工夫の分かりやすい紹介など特段の配慮を。(本間委員)
- ・多数のイベントや事業の充実すばらしいが、参加人数や参加者の反応も掲載してほしい。山形新聞に取り上げられたル・ポットフーでのイベント記事は写真入りでとてもよかった。(本間委員)
- ・子ども読書活動推進業務について、市教育委員会との連携が重要であるが、そもそも基盤となる『子ども読書活動推進計画』の周知が不足ではないか。各種事業と計画がどうリンクするのかというコンセプトの明確化も必須。後付け説明とならないよう、関係機関とは事前から事後まで密に情報確認や協力、PR等の提携を行い事業に反映するようお願いしたい。(本間委員)
- ・「利用者アンケート」等により実情や要望を把握し、反映した上で、中央図書館と、平田八幡等の分館との連携充実を図ってほしい。(本間委員)
- ・現時点での令和4年度の「学校巡回文庫」の実績が出ていないようだが、良い企画なので教育委員会と連携し充実した活動にしてほしい。(本間委員)

以上